
平成 22 年度証券知識の普及・啓発イベントの開催結果について

証券知識普及プロジェクト・平 23.5

証券知識普及プロジェクト（参加団体：日本証券業協会、東京証券取引所グループ、大阪証券取引所、名古屋証券取引所、福岡証券取引所、札幌証券取引所、投資信託協会、名証取引参加者協会）では、平成 22 年 6 月 12 日（土）から平成 23 年 3 月 6 日（日）までの間、全国 9 地区 33 都市 60 会場で証券知識の普及・啓発イベントを開催し、15,247 名にご参加いただいた。

本イベントの参加者アンケートの結果の概要は、下記のとおりである（括弧書きの数値は、昨年度の証券知識の普及・啓発イベントのアンケート結果である）。

本プロジェクトとしては、今後も証券知識の普及・啓発活動を推進し、投資家の金融リテラシー向上と裾野拡大を図っていきたい。

記

○平成 22 年度証券知識の普及・啓発イベントの開催結果について

- 参加者の性別は、男性が 66.2%（67.9%）、女性は 33.8%（32.1%）であった。
- 年齢層は、50 代以下が 48.8%（49.0%）であった。
- 職業は、会社員が 32.8%（32.5%）、無職が 35.1%（33.4%）であった。
- 本プロジェクト主催のイベントにはじめて参加した人は 61.8%（61.3%）であった。
- 証券投資を現在行っている人は 73.5%（75.4%）、過去に経験はあるが現在は行っていない人は 6.5%（6.1%）、未経験者は 20.0%（18.5%）であった。
- 証券投資を現在行っていない人（未経験者を含む）の 66.8%（63.4%）が、証券投資を現在行っていない理由として「よくわからない（知識がない）」を挙げた。また、「投資に回す資金がない」との回答が 32.4%（34.1%）であった。
- 証券投資の理解を深める方法として、80.2%（76.0%）が「講座やセミナーへの参加」を挙げた。
- 証券会社や金融機関に期待することとして、64.0%（64.0%）が「迅速・的確な情報提供」を挙げた。
- 平成 22 年度証券知識の普及・啓発活動に対する感想は、「大変良い」と「良い」が合計 85.9%（87.4%）であった。

(単位:名、%)

イベント 地区	平成 22 年度証券知識の普及・啓発イベント			最近の参加者数
	参加者数	回答者数	回収率	平成 21 年度証券知識の 普及・啓発イベント
東京	4,146 (7 会場)	3,093	74.6	5,699 (16 会場)
大阪	3,713 (12 会場)	2,657	71.6	4,084 (12 会場)
名古屋	2,777 (13 会場)	1,963	70.7	4,706 (16 会場)
北海道	452 (3 会場)	370	81.9	736 (3 会場)
東北	874 (3 会場)	603	69.0	799 (3 会場)
北陸	976 (4 会場)	649	66.5	1,027 (2 会場)
中国	1,267 (9 会場)	1,030	81.3	1,630 (11 会場)
四国	429 (5 会場)	287	66.9	460 (3 会場)
九州	613 (4 会場)	466	76.0	616 (4 会場)
合 計	15,247 (60 会場)	11,118	72.9	19,757 (70 会場)

以 上